HTOKMK03
HB000039210524

柳葉「ピュアな作品」

すい臓がん患者・宮嶋一義役で出演

イベントナビ Event Navi

いのちの停車場 INOCHI NO TEISHABA

インタビュー

俳優の柳葉敏郎(60)がこのほど、スポーツ報知のインタビューに応じた。元高級官僚のすい臓がん患者・宮嶋一義役で出演している映画「いのちの停車場」(吉永小百合主演、成島出監督)について「とってもピュアな作品」と語った。

出演しているのは3シーン。成島監督から「1シーン目はよろいを着た男、2シーン目はよろいを脱いだ男、3シーン目は全てを脱いだ男を演じてほしい。3シーンでこの男の一生を表現してください」と指示されたという。末期がんという病気や運命を受け入れ、潔さを感じさせるが、「それは家族がいたからできた覚悟だったんじゃないかな」と役柄に込めた思いを明かした。

吉永との共演は映画「北の零年」(2005年、行定勲監督)以来、16年ぶり。「とっても名誉なことで、お袋や親戚に自慢できます。うれしいですね」。撮影現場では「僕は気合を入れて現場に入っていきましたが、吉永さんに温かく包み込んでいただいた。それを『オーラ』と言うと仰々しくなっちゃう。親戚のお姉さんのような親しみやすさを感じた」と振り返った。

完成した作品を見て「出演者みんなすごい存在感なんですよね。一人の客として見て、みんなバックボーンをしっかり表現されている」。自身の出演シーンは多くないが、「この作品に参加させていただいて、うれしい限り。この映画で描かれていることは日々、生きていく上で持ってなきゃいけない気持ちなんじゃないかな。生活の何かに結びついていく気がする」と胸を張った。

すい臓がんに冒された元高級官僚の男の生きざまを好演した柳葉敏郎。左上映画「いのちの停車場」の一場面（左から広瀬すず、西田敏行、吉永小百合、松坂桃李）

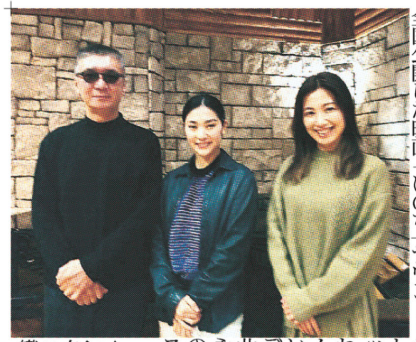
吉永と16年ぶり共演「とっても名誉なこと」

田村正和さんに「感謝」

○…20代の頃から何度も共演した田村正和さん（享年77）が4月3日に心不全で死去した。柳葉は「『ニューヨーク恋物語』のスペシャルで思いっきり殴られるシーンがあったんです。めちゃくちゃ痛かった。あの痛さは一生忘れません。正和さんの仕事への愛と演じている役への真剣さが伝わってきました」と思い出を語った。「正和さんは本当に偉大な俳優さんです。『ありがとうございました』と感謝したい」とメッセージを送った。

余韻味わえるAyakoの歌声

オリジナルサウンドトラック発売



▲▲レコーディング現場にて（左から成島監督、Ayako、村治佳織）

21日（一部地域を除く）全国公開した映画「いのちの停車場」のオリジナル・サウンドトラックがユニバーサルミュージックより発売された。同アルバムに収録されている映画のエンディングテーマ曲は、主演の吉永小百合と親交の深い、ギタリストの村治佳織（43）が作曲。その曲にヴォカリーズ（歌詞を伴わず母音のみで歌う歌唱法）で歌唱した新人アーティストのAyako（24）の声が、映画のエンドロールの余韻と共に好評だ。いのちのあり方を観客に問いかけるこの作品の余韻を味わうべく、村治の美しい旋律にそっと寄り添うような歌声を披露している。

仙台市で試写会

「涙止まらない」

感染防止対策も実施

11日に仙台市内で開催された第85回スポーツ報知特選試写会で「いのちの停車場」が上映された。定員をホール客席数の半数以下とし、感染防止対策を実施して約400名の映画ファンが鑑賞した＝写真＝。上映後のアンケートには「感動した」「涙が止まらなかった」等の好意的な意見が多数寄せられた。一部地域を除き全国公開中。配給・東映。1時間59分。